

地域の交通安全、見守り続けて半世紀

交通指導隊 設立50周年

本市の住民で組織され、安全安心な日々の暮らしのために活動を続ける市交通指導隊が設立50周年を迎えました。節目を記念し、設立の経緯や活動の内容、隊長の声をお知らせします。

■問い合わせ先 防災安全課地域安全係（☎・内線1266）



◎設立から現在に至るまで

自動車の急速な普及に伴い、交通事故の発生件数・死者数の激増が交通戦争と呼ばれた昭和30年代。その社会情勢を背景に、交通安全対策として43年に旧西根町で交通安全補導隊が、旧松尾村・旧安代町で交通指導員が設立されました。その後、平成17年の八幡平市誕生に伴い、旧町村単位で活動していた組織を八幡平市交通指導隊として再編し、現在に至っています。

◎活動は「転ばぬ先の杖」

交通指導隊は、交通事故防止のため、昼夜問わずさまざまな活動を行っています。日々のパトロールや登下校時の街頭指導、行事などの交通誘

導、高齢者宅の戸別訪問、保育所（園）や小中学校などで交通安全教室を開くなど、1年を通して市民の皆さんを交通事故から守る活動をしています。

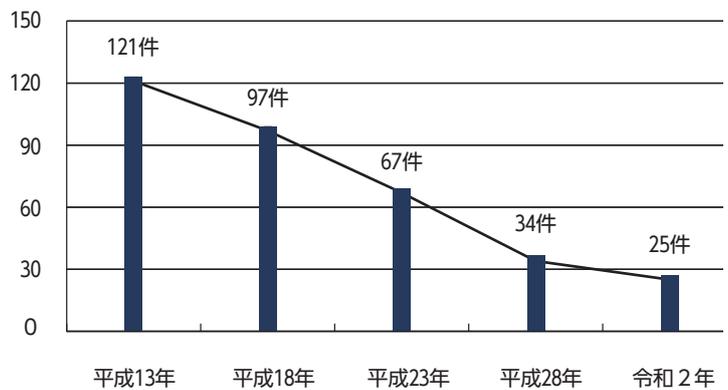


店舗を巡回し、啓発物品を配る隊員

◎事故件数の推移、続く活動

市内で13年から令和2年までに起きた交通事故件数（人身事故）の

表 5年ごとの交通事故件数(人身事故)の推移



推移は右表の通りです。新型コロナウイルス感染症の影響により行事の中止が相次ぎ、十分な啓発活動を行うことができない中、積み重ねてきた地道な活動や市民の皆さんの交通安全への意識の高まりが件数の減少という形で結果に結びついています。

今後もしばしば活動を通して交通安全に寄与し、交通事故ゼロを目指し、交通指導隊一丸となって市民の皆さんの安全安心を支えます。

隊長の声

市交通指導隊隊長

八重樫 俊則 さん (74)
= 東 =



誰かのために続けてきた活動、これからも

市交通指導隊が、50年という節目を迎えることができたのは、家族や職場、地域の深い理解と協力、そして隊員の交通安全への思いのたまものと感謝しています。平成2年の入隊から31年の活動の中で、街頭指導で見守っていた子どもが親となり、その子どもの通学を見守ることも増え、隊の活動が地域の安全につながっているとうれしく感じます。これからも活動に力を入れ、地域の安全を守っていきます。